

みずほCustomer Desk Report 2023/09/04号 (As of 2023/09/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	145.75
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	145.48	1.0843	157.75	1.2672	0.6486
SYD-NY High	146.30	1.0882	157.95	1.2711	0.6522
SYD-NY Low	144.44	1.0772	157.06	1.2578	0.6439
NY 5:00 PM	146.27	1.0773	157.58	1.2590	0.6450
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,837.71	115.80	日本2年債	0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	14,031.82	▲ 3.15	日本10年債	0.6300%	▲0.0100%
S&P	4,515.77	8.11	米国2年債	4.8743%	0.0125%
日経平均	32,710.62	91.28	米国5年債	4.2941%	0.0461%
TOPIX	2,349.75	17.75	米国10年債	4.1798%	0.0746%
シカゴ日経先物	32,760.00	260.00	独10年債	2.5420%	0.0720%
ロンドンFT	7,464.54	25.41	英10年債	4.4255%	0.0700%
DAX	15,840.34	▲ 106.74	豪10年債	3.9990%	▲0.0390%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.14%	▲0.08%
上海総合	3,133.25	13.37	USDJPY 3M Vol	9.11%	▲0.08%
NY金	1,967.10	1.20	USDJPY 6M Vol	9.06%	▲0.05%
WTI	85.55	1.92	USDJPY 1M 25RR	▲0.83%	Yen Call Over
CRB指数	284.36	2.45	EURJPY 3M Vol	9.26%	▲0.07%
ドルインデックス	104.24	0.62	EURJPY 6M Vol	9.43%	▲0.01%

【昨日の指標等】

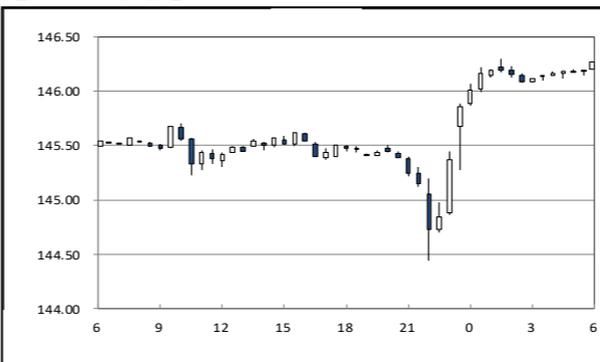
Date	Time	Event	結果	予想
9月1日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 187k	170k
	21:30	米 失業率	8月 3.8%	3.5%
	21:30	米 平均時給(前月比)	8月 0.2%	0.3%
	21:30	米 平均時給(前年比)	8月 4.3%	4.3%
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 0.7%	0.5%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 47.6	47.0

【本日の予定】

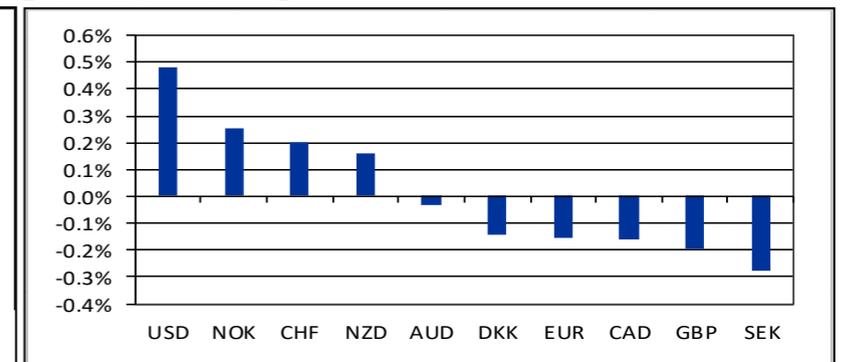
Date	Time	Event	予想	前回
------	------	-------	----	----

東京	東京時間は145.48レベルでオープン。序盤はドル買い優勢の展開だったが、仲値近辺からドル/人民元の急落につられ、ドル円は145.23まで下落。一巡後は、再びドル買い地合いとなるとじり高に推移し、145.62レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.62レベルでオープン。午後に米8月雇用統計を控え、方向感なく推移し、結局145.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	東京時間のドル円は145円台半ばでスタート。145.70まで上昇するも、中国当局が金融機関に対する外貨預金準備率の引き下げ発表を受け、ドル/人民元が下がる中、ドル円も連れ安となり、145.23まで下落する。その後、145.60付近まで戻し、145円台半ばを軸とした推移が続くも、オープン直前に小幅反落し、145.24レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米8月非農業部門雇用者数が予想を上回ったものの、平均時給が予想より低下している内容や、米8月失業率が予想より悪化している結果が懸念され、144.44まで急落する。売り一巡後は、米金利が上昇している展開に反応し、買戻しの展開となり、145.40まで反発。続いて発表された米8月ISM製造業景況指数と支払価格が市場予想を上回り、ドル買いが強まり、145.97まで上げ幅を拡大する。午後は米国の連休を控え、値幅が限定の中、高値圏の146.20付近で揉み合いが続き、146.27レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。欧州時間ではビルワットカロー、仏中央銀行総裁が「金利引き下げを想定し得る地点にはまだ程遠い」との見方を示した事や、欧州株高につられ、1.0860まで上昇。しかし、その後は伸び悩み反落し、1.0834レベルでNYオープン。朝方は先述した米雇用関連経済指標の結果を受け、1.0882まで上伸する。その後米金利が反転上昇する展開が重しとなり、朝方の上昇分を吐きだし、1.0789まで反落。午後午前中の流れを引き継ぎ、1.0772まで下げ幅を拡大し、1.0773レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-146.80	1.0700-1.0850	156.80-158.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は米雇用統計を受けて下落も、一巡後は反転上昇した。東京時間は145.48でオープン後、概ね145円台半ばで推移。米8月雇用統計ではNFPが予想を上回るも6・7月分は下方修正、失業率は悪化、平均賃金の伸びは鈍化と労働市場の逼迫が緩和されるとの見方から米金利が低下し、144.44まで急落。その後、米金利の反転上昇や米8月ISM製造業景況指数の予想比上振れを背景に146.30まで上げ幅を拡大。結局、146.27でクローズ。  
本日のドル円は底堅い推移を予想する。インフレの先行指標であるISM支払価格も予想を上回ったほか、マスター・クリーブランド連銀総裁からも「失業率3.8%は依然として低い」とタカ派的な発言があった。米国休日で薄商いの中、相場材料に乏しいため先週末の流れが継続するものと見ている。ユーロ圏9月センチックス投資家信頼感指数が弱含みユーロ円が売られる場合にはドル円の重石となることも視野に入れておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木